

まちづくり市民会議の
様子は小城市HPからも
ご覧いただけます



第3次小城市総合計画 第3回まちづくり市民会議開催報告

～小城市の現状を未来へ繋ごう～



まちづくり市民会議の全体スケジュール (1年目)

第1回(2023.11.11)
条件なしに未来を語る

「10年後の小城の未来を
漠然と描く」

第2回(2023.12.17)
小城の現状を見つめ直す

「小城の“よかところ”
“よーなかところ”」

第3回(2024.2.4)
小城の現状を未来へ繋ぐ

「小城の現状をテーマ別
に深掘りする」

第4回(2024.3.10)
未来の小城の具体的な
姿を語る

「小城の未来の新聞
づくり」

まちづくり市民会議（第3回）

2024年2月4日（日）9:30～12:00 @小城市役所大会議室



市民参画アドバイザー
加留部 貴行さん

市民等参加者 46人
(うち中学生4人、高校生4人、大学生5人)

まちづくり市民会議（第3回）

関心ごととベスト2 ～ワークテーマの選択～

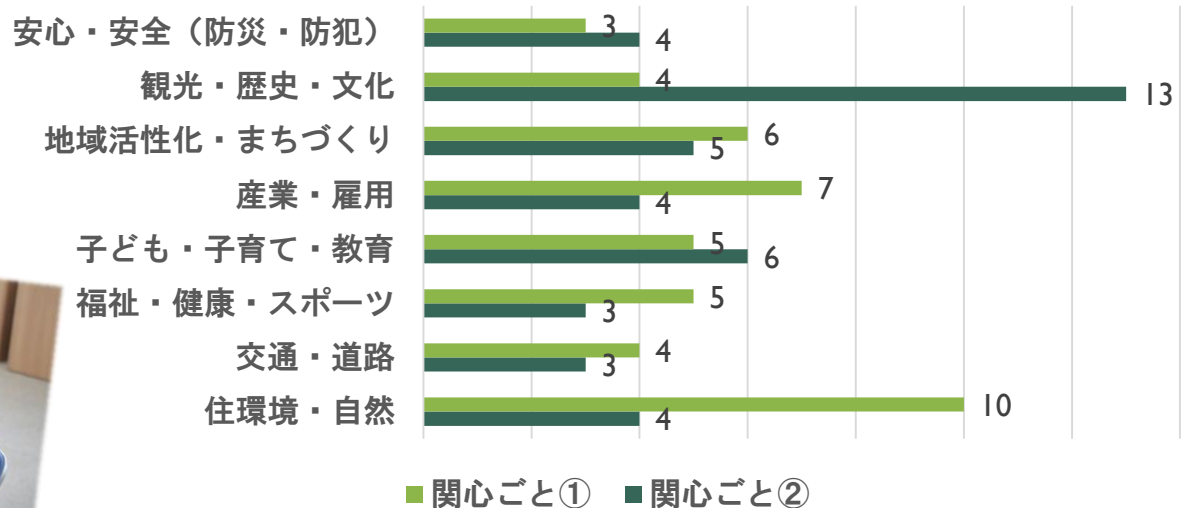
私の関心ごととベスト2

お名前	①住環境・自然 ②交通・道路 ③福祉・健康・スポーツ ④子育て・教育 ⑤産業・雇用 ⑥地域活性化・まちづくり ⑦観光・歴史・文化 ⑧安全・安心(防災・防犯)
関心ごと①	
関心ごと②	

■2つまで選べます(2つが同じものでも可)
■①→②の順番で話します

「観光・歴史・文化」・「住環境・自然」
の分野に関心が多く集まる傾向にありました

参加者の割合



対話①② 小城市の課題を深掘りする

「小城市の〇〇の「よ～なかとこ」
「よかところ」は何ですか」

〇〇には個人が選んだ
分野が入ります

あなたが一番関心のあるテーマを
これからより良くするためには、どこがどんなふうに
「よ～なかとこ」なのか「よかところ」なのかを
ふせんに書き出してみましょう

小城市の〇〇の「よ～なかとこ」
 …社会人 …中高大学生

小城市の〇〇の「よかところ」
 …社会人 …中高大学生

Copyright©2024 Takayuki Karube All rights reserved.



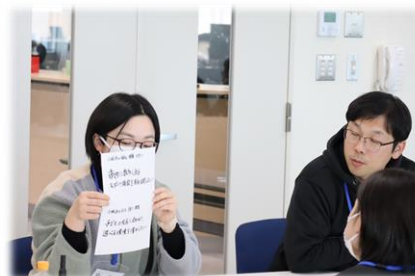
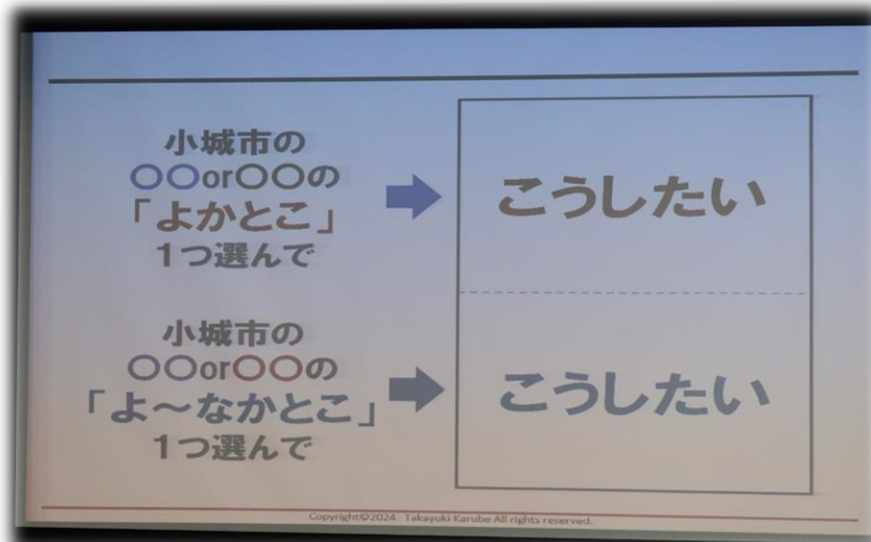
ワークシートはこちらから→



まちづくり市民会議（第3回）

対話③ 対話の振り返り

小城市の〇〇の「よかところ」
「よ～なかところ」をどうしていきたいですか



ワークシートはこちらから→



まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていききたいか

－住環境・自然－

よかところ	どうしていききたいか
県の真ん中で住みやすい (佐賀市に隣接、福岡へも1時間)	生活機能・行政サービスを集約し、コンパクトシティとして効率的に活性化していきたい
ちょうどいい田舎 (都会と田舎の中間)	スローライフができる住みたい田舎まちとしての魅力を発信していく
豊かな自然に恵まれている (水、桜、蛍、梅林、棚田、ムツゴロウ等)	豊かな自然環境・生活環境を保全・活用・伝えていく ☞自然豊かなところを守り続けてスポット化する(保全) ☞美しい景色を活かした市にしたい(活用) ☞小城市の素材を、豊かな自然やまちの良さをPRし、人を呼び込みたい(伝える)
歴史ある街並み、レトロな景観・雰囲気がい	開発や公共工事等で景観が損なわれないよう、景観条例を制定し、景観の保全を図る(企業・市民の協力)

豊かな**自然**環境、**歴史**ある街並み、小城市の**住**みやすさを**知**ってもらう

そのためにできること…

☞今あるものを忘れない、繋げる、活用していく！

まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていきたいか

－住環境・自然－

よーなかところ	どうしていきたいか
空き家が多い 空き家・空き地問題から生じる周辺の 住環境問題（虫、異臭、雑草等）	空き家、空き地の適正な管理、活用 ☞ 空き家を学生向けゲストハウスとして整備し、 フリースペースとして活用する
学生用アパートが少ない	学生用アパートを増やす （大学があるまちとして、学生に寄り添ったまちにしていきたい）
利用できる公園が少ない	今ある公園を整備して使いやすく
ごみ減量、リサイクル対策が不十分	ごみのポイ捨てを減らしたい ☞ ごみ拾いボランティア呼びかけ（学生）

空き家の利用が優位になる、
開発制限と補助強化を、
（新築の抑制）

小城市の暮らしやせと
コンパクトシティ
でもっと効率的に
活性化 残す自然と
活かす便利さ

市外・県外からの移住者が増えている

- ☞ 新たに小城にくる人に対し優しいまちにしていきたい
（ごみの捨て方を移住者にも分かりやすくする、移住者も含めた地域コミュニティの形成等）
- ☞ 大学があるまちとして、学生に寄り添ったまちづくりを目指していきたい
（駅周辺のフリースペースの充実、Wi-Fiスポットの周知・拡充、学生用アパートの充実等）

♪ 県の中心に位置し、生活利便性が高いといった利点を活かすまちづくりを！

まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていきたいか

—道路・交通—

よかところ	どうしていきたいか
平地が多い	地形を生かした健康づくり施策が検討できる ☞ウォーキング、自転車でのサイクリング等
警察や地域ボランティアによる交通安全活動が実施されている	車両及び歩行者の安全のため、今後も地域全体で取り組んでいきたい
よーなかところ	どうしていきたいか
電車・バスの本数が少ない ICカードが使えない	高齢者の移動手段、学生の通学手段の拡充
市循環バスの存在が知られていない、 利用方法が分からない	地域での出前講座、学校での説明会の実施など、学生や高齢者等の情報を必要としている対象に届くような情報発信手段を検討していく
歩行者、自転車の安全のための道路 拡幅、歩道設置	狭い道・暗い道をなくしたい 自転車用道路を整備したい（学校周辺）

通学時に大人や警察が横断歩道に立ち寄り車と歩行者と事故を防ぐことが出来る。⇒これから整備してほしい。

学生からは…

- ☞公共交通機関の学生料金
- ☞駅周辺、通学路の危険箇所の整備

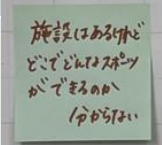
を求める声が多く挙げられました

公共交通整備が不十分であることに関連する意見が多いなか、
今あるモノの利便性を広めていくといった意見が多く挙がりました

まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていききたいか

ー福祉・健康・スポーツー

よかところ	どうしていききたいか
医療・介護施設が充実している、選択出来る (複合医療施設メディカルモールがある)	高齢者等が住みよいまちとしてだけでなく、 子育てしやすいまちとしての魅力も 発信していく
健康福祉施設が多い 一方で  といった意見も…	市内に数多くある健康福祉施設を活用し、 健康づくりに関する取組を検討する

市内に数多くある
スポーツ施設を有効活用したい

よーなかところ	どうしていききたいか
医療・介護利用者が地域で生活している姿が見えない 元気な高齢者の活躍の場が少ない	地域高齢者が気軽に立ち寄れるような場をつくりたい ☞ <u>市内にある福祉施設を活用し、子どもから高齢者まで多世代が関わりあう施策の検討ができないか</u>
介護・生活支援など、市の取り組みが十分に市民に伝わっていない	市の現状や支援制度、利用できる施設等を正しく周知するとともに、高齢者にも伝わる発信手段を検討していく ☞ <u>市で把握できていない生活支援団体やサービスを掘り起こし、周知していくことも必要!</u>

医療・福祉・介護を活用して
地域で生活している人の
姿をもっと見たい!

健康福祉施設は充実しているが、活用ができていない…
ハード面の活用とソフト面の充実化に関する意見が多くでした

まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていきたいか

—子ども・子育て・教育—

	よかところ	どうしていきたいか
	病院、スーパーが多い	
	幼・保育園・学校が多い、大学がある、学校の取り組みが素晴らしい	幼稚園小・中・高・大学がある地域であることを活かして、学校間の交流を深め輝いてほしい
		子どもたちと地域、高校などとの関わりを増やし、「豊かないばをもつ子どもの割合」をのばしたい。
	よーなかところ	どうしていきたいか
子育て世代からは	子どもと一緒に遊べる場所が少ない	子どもの成長に合わせて遊べる環境（公園等）を増やしたい
	子育て支援施策が弱い	支援制度の拡充等、子育て世代に寄り添ったまちにしていきたい
学生からは	学生が気軽に集まって勉強する場所（フリースペース）が少ない	空き家等を活用し、Wi-Fiが整備された古民家カフェなどを整備する
	Wi-Fiスポットが知られていない	若者（学生）にフリーWi-Fiスポットを知ってもらう、周知する

子育て・教育
 大学を活かした町づくり
 (学生対策、フリースペース、Wi-Fiスポット)

子育て世代が増えている

➡ 子育て世代に対する支援策を求める声のほか、
学生に寄り沿ったまちづくりに関する意見が多く挙げられました

まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていきたいか

－産業・雇用－

よかところ	どうしていきたいか	創意工夫の余地
特産品が多い	<ul style="list-style-type: none"> ☞若い人にも興味を持ってもらえるように、InstagramなどでPRする ☞チョコ味の羊羹など今ある特産品の魅力をさらに広める新商品を開発する 	
よーなかところ	どうしていきたいか	いろんなお土産呼んでマルシェを開く（イベントの時）
開発地が点在している	開発エリアを明確にすることで魅力を感じやすくする（流行りを活かしたスポットづくりなど）	
お店や特産品が知られていない 集客力が弱い <i>小情報発信ができていない →Instagramで発信 市のホームページで広報しても ます、わざわざ市のホームページを見ない。</i>	SNS（LINE・X・Instagram・Facebook）、広告、ホームページ等を活用してPRを行う <ul style="list-style-type: none"> ☞魅力ある人・コト・モノを通じて「面白い」ということを発信 ☞特産品の魅力を点在させない！道の駅など、一か所でいろいろな種類のものを買える施設で特産品の魅力を伝える努力を！ 	より情報を発信する（SNS、広告など...）
若者が小城に魅力を感じていない、市外に出て行ってしまう	大学があるまちであることを活かし、産・学・官の連携によるまちづくりにより、学生が小城に残りたい（住み続けたい）と思える環境を作る	

♪今あるモノの魅力を伝える



♪新たな魅力を創り出す

まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていきたいか

—地域活性化・まちづくり—

よかところ	どうしていきたいか
人がやさしい、人と人の関わりがある 市民全員でまちづくりをしていける	対話を文化にする 自分たちの意見を言える場を大切に、行政と地域のつながりをもっと伸ばしたい
地区のイベントが多い、市民活動が活発 地域・学校・行政の繋がりがあがる	SNSを活用し、情報発信を上手に行い、 小城市の魅力を市民全体で共有できるようにしたい
よーなかところ	どうしていきたいか
住んでいる人がどうしたいかはっきり意見を持っていない、他人に頼っている	まずは小城市に住む人々自らが自分たちのまちの良さを知り、将来どんなまちにするかを考える、その上で仲間づくりをして行政を動かしていく
市民活動に若者が参加しにくい、壁がある	入る間口を広げる、フラットにする、若者・移住者も参加しやすい雰囲気を出信する

市民全員でまちづくりにしていきけること。
自分たちの意見が言える場があること。



地元愛の熱の輪
を広げたい。
(活動している人の熱意、活動が知られた人へ
伝え、つながっていく)

(ワークショップから)
新しい人が入れるよう
に入りの口をもっとフラット
にしていきたい。
若者が多量の「参加型」で
できることにしたい。

まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていきたいか

—観光・歴史・文化—

よかところ	どうしていきたいか
魅力ある資源が多い（小城の資源…水、桜、蛸、鯉料理、羊羹、梅林、棚田、ムツゴロウ、文化財等）	魅力ある資源は多いが、それぞれが点在しておりうまく伝わっていないため、ストーリーを持たせて繋げて魅力を出したい
イベントが多い	歴史・自然・文化が感じられるイベント等もあっている 知ってもらえるように発信していきたい

文化財説明板
市内の人にも市外の人にもわかるように…記述的に設置しよう。

よーなかところ	どうしていきたいか
まとまりがない、魅力が点在している 一方で・・・	市外から来てもらえるように、まとまりを持った観光名所を作る 若者が遊べる場所や時間をつぶせる場所として映える所を作る

そもそも、観光客を増やしてほしいのか？ ⇒ 増えることで整備せ
住みやすい街で満足するの？ 教育などのデメリット…

地産地消を活用して古民家カフェとか…のには？！

魅力を外部に発信できていない	SNS（LINE・X・Instagram・Facebook）、広告、ホームページ等を活用して魅力を発信する
----------------	---

小城の資源を広げて
いきたい。
まずは、小城市民から
市外の方にも。

👉 今あるモノ・コト（資源）の魅力発信に関する意見が多い

まちづくり市民会議（第3回） ～参加者から出たキーワードの傾向～

「よかところ」「よーなかところ」をどうしていききたいか

－安全・安心（防災・防犯）－

よかところ	どうしていききたいか
治安がいい、犯罪が少ない 地域の見守り体制がある	治安が良く、子どもも高齢者も安心して過ごせる環境を守りたい ☞ 景観を守りつつ、明るいまち ☞ 人同士の見守りが機能するまち
よーなかところ	どうしていききたいか
大雨に伴う災害が頻発する 水路が多いのに柵がない	事前に災害時の備えをしておく ☞ ハザードマップ等での危険個所の把握 ☞ 災害時の行政の情報発信手段の充実と市民の情報収集手段の確認 ☞ 柵のない水路等、危険個所の整備
街灯が少ない （夜道が暗くて分かりにくい、危険）	街灯を増やす 自然環境に配慮しながら防犯対策をする

1人1人が子どもたちと見守り意識をもって地域全体で子育てしやすい街を目指す。

治安が良い、安心して過ごせる環境を守りたい。
 （景観を守りつつ、明るい街・人同士の見守りが機能する街）

街灯が少ないから、街灯を増やす。

自然を残して防災・防犯対策を！

まちづくり市民会議 (第3回)

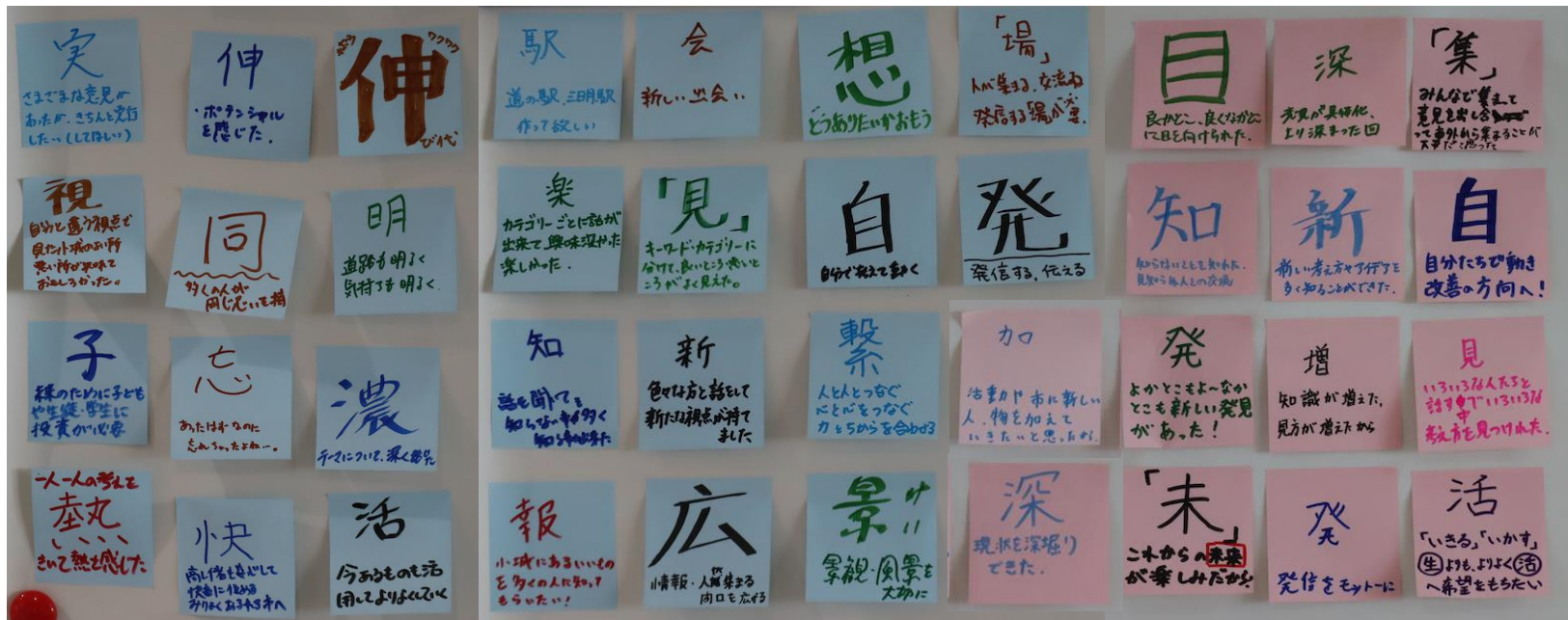
本日の対話の感想 (参加者)

今日の対話の感想を
漢字一文字で表してください

○その文字を選んだ
「そのココロ」も書いてください

ピンク … 中高大学生 青 … 社会人

1・2回目を通じて・・・



深める・活かす・繋げていく
現状を未来へ繋いでいく多くの意見が出ました